



Reitaku Overseas Development Association

RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

令和7年
(2025)
3月16日

第37号

第22巻第2号
年2回発行

主な記事

巻頭 すべての子供たちに教育の機会を
麗澤高等学校 タイ・スタディツアー
報告 子供たちへの教育支援・援助の再開に向けて
タイ・ネパールで事前調査を行いました
その他 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
TEL. 04-7173-3165
<https://www.reitaku.or.jp/>
発行人・小西直之／編集担当・富田裕之

—— すべての子供たちに教育の機会を —— 麗澤高等学校 タイ・スタディツアー 気づきと感動の8日間

令和6年12月20日から27日までの8日間、麗澤海外開発協会（RODA）は麗澤高等学校タイ・スタディツアーを開催しました。参加した13名の生徒は、首都バンコクのスラムや当協会の長年の支援先であるメーコック財団を訪問し、子供たちとの交流やボランティア体験を通じて現地の人々のやさしさや異文化に触れ、さまざまな気づきと感動を得ることができました。



タイ・スタディツアーで 学んだこと

麗澤中学・高等学校4年

うちだ ほなみ
内田 帆南

タイ・スタディツアーを通じて、自分の目でタイという国の一片を見た。オンヌット貧困地域で開催されたクリスマスパーティーでは、みんな笑顔だった。実際自分の目でみる分にも、衛生環境が整わない場所だということがわかる。しかし、だからといって住民の人々の精神状態も悪いというわけではなさそうだった。日本にいる間、私はスラムと呼ばれる場所（貧困地域）の募金活動が行われたり、“世界の現状を知る”ための映像を学校などで見るたびに、スラムにいて、生活をして、人生を終える人々は残念で可哀想な存在なのだと自分勝手にもなんとなく思っていた。自分の気持ちがあんなに酷くおこがましいものだったのかと心底反省した。チェンライにあるメーコックも渡航前の勝手な自分のイメージからはかけ離れており、自分の未熟さを感じた。

タイでの数日間の生活で、特にコミュニティの

印象から私には、“日本で深刻な問題だとされていること”は、実はそこまで現地の人からすれば問題ではないのではないか、という疑問が生まれた。

では、何が問題なのか。それは、非衛生的な環境、就職できる仕事に限られること、教育が十分に受けられないこと、などだ。そのようなことが起こり得る環境にしないために、私が何ができるのかを考えなければならない。このプログラムに参加して、自分が日本で日常的に得ている情報は表面的で自分の価値観上で知っている気になっているだけだと気づくことができた。その上で私はこれから自分の経験し感じたことに加え、自分のタイにおいて興味を持つことができたことを整理し調べようと思う。

今回のタイ・スタディツアーで共に旅をすることができた先輩方の意識の持ち方が自分と異なっており自分が未熟であることを身に染みて感じた。それはメーコック財団にいたときに会った同い年のリサと関わってみても、わかったことだ。今後の成長に繋げようと思う。今回私が見てきたタイという国はタイ国民の知るタイの一部の中の一部でしかないが、タイ国の一片を見ることができ、今後につなげられる学びを得ることができた。



タイと日本の常識の違い

麗澤中学・高等学校5年

こばやし しゅんたろう
小林 峻太郎

タイ・スタディツアーを経験する前、僕はスラムを全てなくすべきだと考えていました。でもスラムの子供たちも楽しそうにしているしスラムの人達が行っている仕事を誰が行うのかとか考えると、スラムはあるべきものなのかもしれないとも思いました。もうひとつ印象に残ったことはタイ政府の政策のことです。タイ政府はタイファーストの政治を行っているしスラムの問題やカースト制度など良くない部分を根本的に解決しようとしてないとはいえ、実際経済成長を今もしているという結果を見るとこの政治体制も間違いではないと思います。このようなことを見て実際の環境を見て感じないと机上の空論でしかないなと感じました。

メーコック財団でボランティア活動をして生活をして感じた感想としては日本との環境の差でした。メーコック財団は山岳地域に位置していて、とてもじゃないが立地が良いとは言えない場所に

ありました。例えば洪水が起こった時など電気や水道が復旧するまで2、3日かかっていたり、生活に欠かせない物が手に入らなかったり、学校の数も少なく乗り物を使わないといけない距離にしかない現状でした。そのような環境を見た時日本の環境は当たり前ではないのだと感じさせられました。今回メーコック財団にお邪魔させてもらうまでは、被害から3か月も経っているし、自分は洪水被害とは全く無縁の地域に住んでいたのも、自分たちがすることは本当に残っているのかと心の中で思っていました。しかし、到着して実際に洪水被害から3か月程度経った現状を目で見た時驚きました。川の水位が自分の頭より上の位置まで上がった後やまだ泥の中に埋もれている子供達の部屋を見て想像以上の被害の大きさに打ちひしがれました。

今回のタイ・スタディツアーに参加して、実際に自分の目で見て体験しなければ、その問題の本当の深刻さや被害者の気持ちを理解することはできないと感じました。今回のスタディツアーは今まで体験したことのないことや知らなかったこと、タイと日本の常識の違いを実際に見て体験するという本当に貴重な体験ができました。

言葉の壁を超えたつながりを感じ、異文化交流の大切さを学んだ8日間

令和6年12月20日から27日までの8日間、麗澤海外開発協会(RODA)は麗澤高等学校タイ・スタディツアーを開催し、13名の生徒が参加しました。訪問先は、当協会の支援先であるメーコック財団(チェンライ県での子供の教育支援施設)とJILAF(国際労働財団/Japan International Labour Foundation-Thailand)が支援する移民労働者の暮らす貧困地域です。

バンコクでは、高層ビルのすぐそばに広がるスラム街を目の当たりにし「世界一格差がある国」といわれる現実を実感しました。貧困=不幸という固定観念は、スラムの人々のたくましさや子供たちの笑顔に触れることで揺らぎ、「幸せとは何か」を深く考える機会となりました。

チェンライでは、メーコック財団の子供たちと交流し、物質的な豊かさだけが幸福ではないことを実感しました。言葉の壁を超えたつながりを感じ、異文

化交流の大切さを学びました。

このツアーで私たちは、社会の格差やスラムの存在、自分にできることについて多くの問いを得ました。現地を見て、聞いて、感じたことを大切に、今後も広い視野を持って学び続けたいと思います。

最後に、この貴重な機会を提供して下さった関係者の皆さま、支えて下さったすべての方々、心より感謝申し上げます。(事務局/北澤泰子)



チェンライ市内の青い寺こと「ワット・ロンサアテン」を参拝



ミャンマー移民の子供たちとクリスマス交流会(バンコク)

—— 子供たちへの教育支援・援助の再開に向けて ——

タイ・ネパールで事前調査を行いました

継続的な支援の重要性を確認

令和7年1月6日から13日にかけて、タイとネパールを訪問し、現地活動支援・援助等の再開に向けた事前調査をしました。今回の視察では、バンコクでの移民労働者の子供たちへの教育支援、ネパールでの学校施設の現状確認、医療施設の活用に関する課題を把握することを目的としました。

バンコクでは、ミャンマーからの移民労働者が増加しており、その子供たちが十分な教育を受けられない状況が続いています。そのため支援団体によるラーニングセンターやNFE (Non formal education school) が運営されており、私たちはオンヌット86小路のスラムとバーンボンNFE校を訪問しました。

このミャンマー人移民労働者(500名強)が住む地域では、JILAF (Japan International Labour Foundation-Thailand) が当協会の支援のもとでラーニングセンターと移動図書館を運営し、教育の重要性を啓発しています。また、バーンボンNFE校では、笹川

平和財団の支援により30名の子供たちがタイ語を学び、公教育への進学をめざしていました。

ネパールでは、アネコット村にあるシュリカリカ小・中・高等学校を訪問しました。当協会は2016年の大地震後に校庭の整地や教材支援を行いました。現在在学数が600名から250名に減少しており、学校施設の有効活用が課題となっています。また、日本大使館と当協会支援により建設したクリニックは休眠状態となっており、ネパール赤十字社役員のイスワル氏が再開を希望していますが、建物の改修や自治体との手続きが課題となっています。

今回の視察を通じて、両国における教育や医療支援の現状と課題を把握し、継続的な支援の重要性を改めて認識しました。今後の活動に向け、今回得た知見を活かしていきたいと考えています。

(事務局/吉田保幸)



バンコク・オンヌット86小路(スラム)のラーニングセンターで授業を受けるミャンマー人の児童



バンコク・オンヌット86小路(スラム)のラーニングセンターで授業を受けるミャンマー人の児童



オンヌット86小路(スラム)のコミュニティー長との懇談



コミュニティー内にあるゴミ集積場



バーンボンNFE校で授業を受けるミャンマー移民の児童



ネパール・カトマンズ近郊にあるクリニックの建物

たくさんのご支援、ありがとうございます

〈令和6年4月1日～令和7年3月10日〉掲載に同意された方をご紹介します。(順不同)

■会費

廣池幹堂、甲良昭彦、木下廣太郎、関哲夫、山口明、新井秀啓、内田八代、長谷和治、土谷和光、横山守男、杉浦廣道、山本祥子、柏谷康博、大谷誠之、今井收、長谷篤治、山田雅雄、松本哲洋、小西直之、古川定邑、山本浩、俣野幸昭、桑島義智、梅村元成、和田悦治、井上源一、太田徳昭、増田一江、小林雅純、永治達彦、小野剛、藤村薫、濱井利一、福井博康、桑島朋子、平塚靖永、須見好和、松岡孝柁、岸上肇、三木実、河村満、風澤俊夫、菅間正則、井川好長、岩田英志、横山明弘、黒白常光、菅澤運一、福田靖久、大山圭子、田中一宏、長谷真千子、村瀬泰比古、佐久間三郎、田中聖則、沖野二郎、北川治男、鈴木貞夫、淡島成高、雲丹亀宏明、鈴木孝明、青木久子、結城保、赤松良平、田口英樹、富士俊隆、福代明正、濱島直隆、北澤泰子、神永正男、井上景介、我孫子利和、藤田和広、廣池加津子、落合博志、黒須里美、長谷愛子、吉山八郎、岡部征次、富田裕之、中村修一、株式会社ピアかざりや、合資会社川貞商店、佐藤薬品工業株式会社、有限会社弘明堂、山口保安工業有限会社、村田ボーリング技研株式会社、株式会社三国一、森口製粉製麺株式会社、川越・富士見モラロジー事務所、福井東モラロジー事務所、大田モラロジー事務所、相生モラロジー事務所、廣池学園モラロジー事務所、世田谷モラロジー事務所、鹿行モラロジー事務所、焼津モラロジー事務所、堺北野田モラロジー事務所、加古川モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、若狭モラロジー事務所、東京港モラロジー事務所、小松島モラロジー事務所、有田モラロジー事務所、泉大津モラロジー事務所、岸和田モラロジー事務所、和歌山モラロジー事務所、盛岡モラロジー事務所、目黒モラロジー事務所、香椎モラロジー事務所、美馬モラロジー事務所

■準会費

長谷憲治、高野橋健吉、尾崎哲子、杉山蒼真、石川理彩、高木千夏、安田穂乃花、藤波柁真、吉川愛優香、田村江利果

■一般寄付金

廣池幹堂、木下廣太郎、山口明、内田八代、長谷和治、渡辺康博、横山守男、杉浦廣道、山本祥子、長谷篤治、山田雅雄、俣野幸昭、山崎純雄、和田悦治、大住敬一、福井博康、井上照悟、俣野貴昭、松岡孝柁、井川好長、木崎重安、横山明弘、俣野喜代美、俣野智美、澤政利、杉山雄彦、橋本光世、三浦順治、山田武司、森田政見、沖野二郎、尾崎哲子、岩永和美、青木久子、加島亮伸、福代明正、井上景介、上萩洋三、鈴木強、落合博志、木野稔、長谷愛子、井上貢一、宇佐美修造、笠田環嗣、加藤信次、加藤やよい、加藤芳彦、神田茂、北敏子、橋高重久、雑賀正光、佐久間八重子、島崎執、関俊章、高坂賢吉、寺坂富俊、内藤富博、長井孝介、野中康弘、野口與納助、橋本皇子、前島義人、増田顕次郎、三浦洋嗣、光安輝雄、御代川克之、山口保安工業有限会社、野田ミート株式会社、株式会社ダイキョープラザ、株式会社小松製菓、三信株式会社、坂井モラロジー事務所、四日市西部モラロジー事務所、堺北野田モラロジー事務所、尾道モラロジー事務所、若狭モラロジー事務所、京都伏見区モラロジー事務所、小松能美モラロジー事務所、旭川モラロジー事務所、今治モラロジー事務所、大阪東淀川モラロジー事務所、大阪住吉モラロジー事務所、流山モラロジー事務所、堺北モラロジー事務所、長崎北部モラロジー事務所、和歌山モラロジー事務所、今治南モラロジー事務所、埼玉県モラロジー協議会、静岡市葵モラロジー事務所、大阪旭モラロジー事務所、春日部モラロジー事務所、京丹後モラロジー事務所、名古屋東モラロジー事務所、千代田モラロジー事務所、福井西モラロジー事務所、高浜モラロジー事務所、津山モラロジー事務所、新潟モラロジー事務所、米子モラロジー事務所

■竹原基金

廣池幹堂、木下廣太郎、山口明、内田八代、長谷和治、横山守男、杉浦廣道、山本祥子、柏谷康博、長谷篤治、山田雅雄、俣野幸昭、桑島義智、和田悦治、福井博康、桑島朋子、松岡孝柁、三木実、森田政見、沖野二郎、山本浩、岩永和美、青木久子、山田莊一、藤田和広、長谷愛子、笠原伸泰、片山道則、加藤信次、桑島祥子、小林一正、島崎執、鈴木洋子、内藤富博、長井孝介、三浦洋嗣、村松正章、支援キルトの会ふーぶ、山口保安工業有限会社、大垣モラロジー事務所、堺北野田モラロジー事務所、福井西モラロジー事務所、長野モラロジー事務所

《会員・寄付金・竹原基金を募集しています》

会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は掲載させていただきます。

不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨を記入いただくか、事務局までお知らせください。

種類	年額
会費	1口1万円(1口以上)
法人会員	1口1万円(1口以上)
準会員	1口2千円(1口以上)
寄付金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

※通信欄に寄付等の種類をご記入ください

令和7年度
事務局体制のお知らせ

事務局長 桑島義智

事務長 桑島朋子

事務局員 北澤泰子／木下廣太郎／高木宏和／富田裕之／横山守男／吉田保幸



一般財団法人
麗澤海外開発協会事務局

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 TEL: 04-7173-3165

E-mail: kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp HP: https://www.reitaku.or.jp/